

第16期決算公告

2022年6月28日

東京都港区芝二丁目6番1号
株式会社 長谷工インテック
代表取締役 大岡 修平

貸借対照表(2022年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	2,853,463	流動負債	2,162,684
現金及び預金	1,609,182	営業未払金	1,199,406
営業未収入金	942,537	リース債務	120
前払金	287,828	未払金	98,562
貯蔵品	2,186	未払費用	80,081
前払費用	11,650	未払法人税等	32,910
未収入金	833	前受金	682,806
貸倒引当金	△ 754	預り金	24,436
		賞与引当金	30,172
		商品保証引当金	14,191
固定資産	125,285	固定負債	41,994
有形固定資産	61,138	リース債務	123
建物	46,223	株式給付引当金	25,349
工具器具・備品	14,696	資産除去債務	16,522
リース資産	219		
無形固定資産	11,620		
ソフトウェア	11,620	負債合計	2,204,678
投資その他の資産	52,527	純 資 産 の 部	
長期前払費用	54	株主資本	774,069
繰延税金資産	37,473	資本金	50,000
その他投資	15,000	利益剰余金	724,069
		利益準備金	12,500
		その他利益剰余金	711,569
		繰越利益剰余金	711,569
		(当期純利益)	250,102
		純 資 産 合 計	774,069
資産合計	2,978,747	負債・純資産合計	2,978,747

個別注記表

【重要な会計方針】

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品	個別法による原価法 (貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
-----	--

2. 固定資産の減価償却方法

有形固定資産 (リース資産を除く)	定率法 但し、1998年4月1日以降取得した建物 (建物附属設備を除く) については定額法、2016年4月1日以降取得した建物附属設備・構築物については定額法を採用しております。
-------------------	--

無形固定資産 (リース資産を除く)	定額法 但し、ソフトウェア (自社利用) については社内における利用可能期間 (5年) に基づいております。
-------------------	---

リース資産	リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法
-------	---------------------------

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金	売掛債権その他これに準ずる債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
-------	--

賞与引当金	従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。
-------	---------------------------------------

商品補償引当金	商品売上高として計上した売上に係る瑕疵についてその引渡し後において、自己の負担により無償で補修すべき場合の費用支出に備えるため、補修費用の見積額に基づき計上しております。
---------	---

株式給付引当金	株式給付規定に基づく株式会社長谷工コーポレーション株式の給付に備えるため、当事業年度末における株式給付債務の見込額に基づき計上しております。
---------	--

4. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な業務は、インテリア販売、工事中オプション、モデルルーム・共用部のコーディネートであります。当該履行義務は顧客に対しての成果物納品であり、当該業務が完了した時点で収益を認識しております。
取引価格は顧客との契約により決定しており、対価は当該契約に基づき受領しております。

5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

連結納税制度の適用	連結納税制度を適用しております。
-----------	------------------

記載金額の表示方法	表示単位未満の端数を四捨五入して表示しております。
-----------	---------------------------